

科目名		授業形態	担当教員名	
構音・口腔機能の評価・訓練Ⅱ		講義	太田 信子・今井 絵美子・高橋 朋佳 大森 昭輝・岸本 裕子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
成人の嚥下障害、運動障害性構音障害の評価法の実際、訓練計画につなげる考え方、口腔ケアの手技に関して講義を行う。				
授業の到達目標				
成人の嚥下障害、運動障害性構音障害の臨床に必要な評価法、訓練計画につなげる考え方、手技を修得する。口腔ケアを実施することができる。運動障害性構音障害例のビデオを見て、構音、発声発語器官の運動を観察、分析、記載し、訓練法を選択することができる。文献を読み、様々な訓練法の特徴、適用について報告することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	運動障害性構音障害：F.K.（検査評価、報告書）提示（太田・今井・高橋）			
2	発声発語器官 運動検査 *レポート（太田・今井・高橋）			
3	発声発語器官 運動検査の実際（太田・今井・高橋）			
4	運動障害性構音障害：F.K.解説（太田・今井・高橋）			
5	口腔ケアの実際（大森）			
6	口腔ケアの実際（大森）			
7	嚥下障害（検査・評価）（岸本）			
8	嚥下障害（検査・評価）（岸本）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	55%	基準に達しない場合は再提出がある		
小テスト				
平常点	45%	大森10% 岸本10% 太田・今井・高橋25%		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
はじめての口腔ケア	道脇幸博		メディカ出版	
標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第2版	藤田郁代 監修		医学書院	
改訂 運動障害性構音障害	熊倉勇美 編著		建帛社	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
嚥下障害の講義で使用した、テキスト・プリントを持参するようにしてください(岸本)				